

(総務委員会)

新しい下呂温泉の魅力を創出すべく、下記について実施したい。

- 1．協会事業全体に対する総合的な企画及び調整
- 2．国、県の事業参加を通じて効果的な下呂温泉の発信と情報の収集
- 3．濃飛横断自動車道及びアクセス関連道路整備促進の諸活動
- 4．岐阜県空港の早期実現の運動
- 5．南飛驒国際健康保養地との連携強化
- 6．下呂温泉のシンボリックな外湯建設の推進
- 7．ぎふデスティネーションキャンペーンへの対策
- 8．リニアエクスプレス中央新幹線の早期実現の陳情
- 9．健康保養地づくりの促進
- 10．南飛驒総合健康アリーナ建設の促進
- 11．高山本線強化促進及び全線復旧に伴う諸活動
- 12．下呂市並びに旅館組合等関係団体との連携の強化
- 13．県及び近隣観光協会及び市内観光協会との交流活動の強化
- 14．日本三名泉有馬・草津と韓国儒城との交流、情報交換
- 15．下呂温泉まつりの共催
- 16．市及び市議会との観光振興会議などの開催
- 17．芸妓芸能の育成
- 18．地元教育機関との交流
- 19．防犯活動の推進
- 20．観光関係功労者、優良従業員の表彰

(誘致宣伝委員会)

国内へ向けては、10月から12月に展開される「ぎふデスティネーションキャンペーン」の実施を契機とし、県・市や岐阜県観光連盟、下呂温泉旅館協同組合、各地の誘致協議会等と連携をとりながら、その前後に「広域誘致会議」(仮称)およびキャラバン等を実施するとともに、PRイベント等へ積極的に参加する。

また、外国人観光客誘致にあたっては広域観光での連携を深め、海外での観光展への出展など積極的な事業展開を進める。

同時に国内外からの観光客誘致に伴ない、パンフレット等の作成ならびにマスコミを巻き込んだ広告宣伝活動を下呂市と共に効果的に実施して行きたい。

1. ぎふデスティネーションキャンペーンへの参画と誘致推進
(仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・京都)
2. インバウンド事業の誘致促進
3. 下呂市台湾連絡事務所の活用と誘客対策
4. 高山本線全線復旧に伴う誘致宣伝事業
5. 広域誘致会議の検討と開催
6. 旅行業者並びにマスコミ各社へキャラバン隊の実施(下呂市および旅館組合と共同)
7. 国内外での観光展ならびにPRイベントの実施(下呂市および旅館組合と共同)
8. 国・県・県観光連盟および関係団体が実施する観光展、PRイベント等への協力
9. 宣伝用印刷物・販促物の作成
10. マスメディアに対する広告出稿
11. 各種大会・全国大会等の誘致活動及びシニアソフトボール大会、下呂温泉卓球大会への協力
12. インターネットの活用(旅館組合の下呂温泉Webページへの協力)

(まちづくり委員会)

新たな時代の温泉地として、景観は重要な要素の一つです。行政や区、各種団体との連携を図った飛騨川クリーン大作戦と花木の植栽等を実施し、魅力ある温泉地としての「まちづくり」について考えて行きたい。

1. まちづくりへの提言
2. 飛騨川クリーン大作戦の実施
3. 花木の植栽と定期的な管理
4. 里山の紅葉樹作戦と名所作りの推進
5. 旧飛騨街道の再生事業への推進

(交流研修委員会)

観光客のニーズが多様化するなか、下呂温泉の活性化を図るために、観光客のトレンドを的確に把握しなければならない。高山線強化促進という重要な目的も併せ持つ「車上セミナー」を実施したい。また、国際交流事業を実施し国際観光地としての今後の下呂温泉の取り組みについても研究して行きたい。

- 1．協会員の研修及び高山本線強化促進を目的に車上セミナーを開催する
- 2．観光講座等への、会員の積極的参加の推進
- 3．接客サービス研修会の開催
- 4．国際交流事業の実施

(おもてなし委員会)

当地を訪れる方々への感謝と旅の思い出づくりのお手伝いとして、温泉街にて下記の事業を実施したい。また、JR東海の「さわやかウォーキング」への協力もして行きたい。

- 1．下呂温泉いでゆ夜市の企画、運営
- 2．歌塚供養祭・歌塚歌謡祭の企画、運営
- 3．キャンドルイルミネーションの実施
- 4．ウォーキング大会等、各種アウトドアイベントへの参加協力
- 5．温泉街(市内)における各種イベントの実施

(青年部)

- 事業方針 -

ゆるやかではあるが昨年からの景気の上昇は、今年度も安定して、ゆるやかに上昇していくものと思われます。国内旅行への支出も増えていくのではないかと期待するところですが、旅行市場においてはますます競争が激化することでしょう。

観光地は、多様化した観光の目的・要求に十分満たせるように、また他の観光地にはない個性のある観光地づくり、そこにしかない満足感を提供できる観光地として努力しなければなりません。前年に引継ぎ我々青年部は、この地域にとって観光がもたらす経済効果が大であることを再認識すると同時に、先人が築き上げた下呂温泉の知名度の大きさ、下呂温泉のすばらしい泉質を最大限に活用して、観光地の魅力につながる自然、景観、歴史、文化、産物など地域の資源を最大に生かして、個性のある下呂温泉、観光地づくりに積極的な活動を展開していきたいと考えています。

- 事業計画 -

1. (社)下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバンの実施(下呂温泉旅館協同組合青年部との協力事業)
3. 温泉と健康に関する調査研究
4. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究
 - ・ 緑、紅葉や花木に植栽
5. 「TOG会議」等、諸団体との連携
 - ・ 「花火ミュージカル冬公演」への参画
6. 「130万人誘致客対策」について新たな観光資源の発掘・研究・提案
7. 部員拡大
8. ぎふデスティネーションキャンペーンへの協力

「TOG会議」

下記の5つの青年団体が集まり、様々な観点と立場から街作りを考え行動している団体です。

(社)下呂青年会議所、下呂商工会青年部、下呂温泉旅館協同組合青年部

(社)飛驒法人会下呂支部青年部会、(社)下呂温泉観光協会青年部